

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第6区分  
 【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公開番号】特開2004-1868(P2004-1868A)  
 【公開日】平成16年1月8日(2004.1.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2004-001  
 【出願番号】特願2002-245792(P2002-245792)  
 【国際特許分類第7版】

B 6 5 D 5/10

B 6 5 D 5/43

【F I】

B 6 5 D 5/10 C

B 6 5 D 5/10 G

B 6 5 D 5/42 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月16日(2004.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

【従来技術】

従来、生鮮野菜や果実或いは花卉などを箱詰めして出荷する場合、一度に多数個が出荷されるので組立てが容易なJIS-Z1507の0201形式(旧A-1形)の段ボール箱が多用されている。

この箱は、長形状の4側板を一方向に接続し、その4側板の上下に箱の底面及び天面を封鎖するためのフラップを接続してなるほぼ直方体形状の箱である。まず、接続した4枚の側板を角筒状に連結し、内フラップおよび外フラップを折り線で箱の内側に折り曲げ、天面内外各フラップにより開口を設けるようにして閉じ、内外フラップの重なった部分をステッチやステーブルと呼ばれる針のような金具Sを打ち込むか、あるいは、底面の両外フラップをまたがるように糊で接着して封緘していた。さらに箱に収納物を収納した後、箱の天面を閉じるときは、図19のように天面内外フラップの重なった部分を主としてステッチ金具Sにより、天面の四隅を止めて出荷していた。